

〔巻頭言〕

人間科学研究科紀要第13号発刊にあたって

人間科学研究科長 藤 田 千鶴子

平成16年4月、鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程（1研究科1専攻）が開学し、13周年を迎えました。平成18年度より、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会臨床心理士養成指定大学院（第1種）に認可され、歩みを進めてまいりましたが、来年度からは公認心理師の養成にも対応できるよう、準備を進めております。

心理臨床学専攻は12名の専任教員と9名の兼任教員からなり、「こころ」の分野と「からだ」の分野を統合した「人間科学」を学べるカリキュラムになっています。「こころ」の分野は、「臨床心理学特論」「臨床心理面接特論Ⅰ・Ⅱ」「臨床心理査定演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「生涯発達心理学特論」「障害児（者）心理学特論」「心理臨床総論」「学校臨床心理学特論」「精神分析療法特論」「遊戯療法特論」「家族療法特論」「被害者臨床援助特論」「臨床心理学研究法特論」「心理統計法特論」「文化人類学特論」「社会心理学特論」「福祉行政総論」などで構成されています。「からだ」の分野は、「神経学特論Ⅰ・Ⅱ」「小児医学特論」「精神医学特論」「精神薬理学特論」「HIVカウンセリング特論」などで学ぶことができます。

臨床実習として、「臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ（学内実習）」「臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ（学内実習）・Ⅲ（学外実習）」があり、学内実習は大学院心理臨床相談センターで行っています。当センターは、相談室4室、プレイルーム4室ほか10余室を備え、臨床心理士としての資質をより深める実践の場となっています。学外実習は、精神科病院等の心理臨床関連施設、児童心理治療施設、社会福祉施設などで行っています。

臨床心理士有資格者の専任教員の専門性から、被害者支援、発達支援、スクールカウンセリング、高齢者支援、家族支援等に対応できる臨床心理士の養成を目指しているところです。大学院入学1年目には心理臨床学の基礎を培い、2年目は実習と修士論文完成を目指し、臨床と研究の両立に励んでおります。今年度は、修了希望者4名が修士論文を提出し、学位を得ました。また、先生方の御力添えをいただき、精神科のクリニックや病院、福祉施設など、大学院修了後の進路につきましても多くの内定をいただいております。

教員、院生、スタッフ一同、弛むことなく、その専門性を高め、人間としても成熟していきたいと心から願っております。この3月に、本学大学院は記念すべき13期生を旅立たせることとなります。非常勤講師、客員相談員、学外実習の先生方、お支えいただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。